

## 理事長あいさつ

### 多彩な事業を展開

理事長 船越 昇

21号の「シルバーせいか」をお届けします。ご一読していただくとお分かり願えると思いますが、多彩な事業展開を反映して今号も豊富な内容になりました。前号の発行からわずか3ヶ月しかたっていませんが、よくこれほどまでいろいろ活動をしているものだと感心しています。しかも、ほとんどの事業、行事が会員主導によって展開されています。センターの躍動感を紙面から読み取ってください。いくつかの事業についてコメントしてみます。

最もホットなニュースは、念願のホームページが9月1日から開設されたことです。ホームページ運営委員の献身的な努力で、大変見やすい内容に仕上がりました。センターと会員、会員相互の情報伝達の手段として活用され、経営に反映できるまでにはもう少し時間がかかりますが、公益法人に求められている情報公開の条件の一つはクリアできたと喜んでいきます。これからは広報誌「シルバーせいか」と一体的な運用を図っていきます。

3年目を迎えた子育て支援事業は、参加する児童数、シルバー会員数がともに増え、軌道に乗ってきました。事業の中心になっている放課後児童クラブ支援も新メニューが増え、多彩になってきました。今後はこの子育て支援事業を地域の子ども会の活動や小学校の授業の一環に組み込んでもらうことがセンターの次の目標です。10月14日には教育関係者等を招いて、支援活動のデモンストレーションを計画しています。子育て支援に関心のある会員はぜひ見に来てください。

7月10日には「堆肥化推進事業」の発足式を行い、新しい事業をスタートさせました。草刈や剪定作業で発生する草や枝葉をごみ焼却場で処理せずに堆肥にして自然に還すことはセンター発足当初からの希望で、これまでは担当会員の技術研鑽に努めてきました。

20年度から国が地域に密着した「企画提案型」事業に補助金を交付する制度を創設しましたので、当センターは精華町の協力を得てさっそく応募し、認可されました。この事業で、焼却するごみ15トンを減らし、二酸化炭素を20トン削減して地球温暖化防止に貢献したいと願っています。

本業の受託事業も順調に展開しています。4～7月の受託額は前年比11.4%の伸びを示しました。安全操業に最大限留意して、着実に実績を積み重ねていきたいと考えています。

## 理事会等のうごき

### 平成20年度第3回理事会

第9号議案 正会員入会申込者の専決処分の承認について  
 第10号議案 平成20年度第2次収支補正予算書(案)について  
 第11号議案 配分金見積基準の一部見直しについて

平成20年7月25日(金)

全議案を可決しました。